

## 歩ける距離と速さを競う 第1回東温市長杯スラックライン大会

11月24日、今年3月にオープンしたかすみの森スラックラインパークで第1回東温市長杯スラックラインロングライン大会が行われ、県内外から約50人が参加しました。参加者は世代別のクラスに分かれ距離と速さを競います。渡りきった参加者には会場から温かい拍手が送られていました。かすみの森スラックラインパークでは毎月第1日曜日にスラックラインの無料体験会を行っています。



## 自分と子どもの命を守るために ママの立場で考える防災講座

11月27日、中央公民館で「ママの立場で考える防災講座」が開催されました。災害時の避難所で避けられない問題であるトイレについて吸水実験等を交えながらワークショップ形式の講座です。会場にはキッズスペースが設けられており、小さなお子さんも一緒に参加できました。講師のえひめ女性と防災の会会長の小國恵子さんは、「自分の命を守るために今日からできることを始めましょう」と呼びかけました。

## 地域の身近な相談役 民生児童委員委嘱状伝達交付式を開催

12月5日、農村環境改善センター2階で、第22期民生児童委員委嘱状伝達交付式が行われました。式の前には、長年の功績を称え、宮田恵子さんに厚生労働大臣表彰を、菅野隆房さんに全国民生児童委員連合会長表彰をそれぞれお渡ししました。

委員任期は3年間で、集まった67人の委員に加藤市長は「行政と地域福祉とのパイプ役として、より深い絆づくりにご尽力をお願いします」と激励しました。



## 継続した取り組みで来場者も拡大 横河原朝市を彩る家族の笑顔

11月24日、横河原駅前コミュニティスペースで第12回横河原朝市が開かれました。

横河原商工連盟青年部が中心となって継続して実施されているイベントで、会場にはサンドイッチやパン、おもちゃやぜんざいが並び、多くの家族連れで賑わいました。回を重ねるごとに来場者が増えていて、中高生が友人と買い物を楽しむ姿も見られました。主催者によると、次回開催は4月の予定だそうです。

## とうおん中小企業交流シンポジウム 東温高校生が市内企業を学ぶ

11月21日、東温高校でとうおん中小企業交流シンポジウムが行われました。普通科の1～3年生約500人が各企業のお話に熱心に耳を傾けていました。(株)サカワに勤める西川さんのお話では、自身が東温高校出身ということもあり、多くの質問が寄せられました。入社したきっかけや社の魅力をPRした後、「今しかできないことを思いっきりやってほしい」と高校生にエールを送りました。



## 大きく育つと願いを込めて 双葉保育所園児たちがしいたけ植菌体験

12月10日、双葉保育所の園児たちが河之内地区で、しいたけの植菌を体験しました。市民団体ふくさの森(代表：村上帛子さん)が主催し、自然の中で木の温もりを感じてもらおうと毎年開催しています。クヌギの木に椎茸の種駒を詰めた園児たちは、主催者の手を借りながら、原木にドリルで穴を空ける作業も体験。木屑が跳ぶ様子に驚きながらも「簡単にできて楽しい」と笑顔を見せていました。

## 今日も元気にいってらっしゃい! マンダリンパイレーツが登校を見守り

12月11日、愛媛マンダリンパイレーツの選手が拝志小児童の見守り登校に来てくれました。6年丹生谷寧々さんは、「登校中に低学年の子が泣いてしまったときはいつも見守り隊の人たちが駆けつけてくれました。おかげで安心して登校することができました」と感謝の言葉を述べました。拝志校区では、約10人の地元の方が交代で毎朝児童たちが安全に登校できるよう見守ってくれています。



▶ヘリの着陸に備え、運動場に散水する参加者



## 西谷小・東谷小で実施 愛媛県ドクターヘリ連携訓練

西谷小・東谷小でドクターヘリ連携訓練が行われました。災害発生時に孤立する可能性が高い地域では重症度の高い傷病者が発生した場合迅速な対応が求められます。地元住民と自主防災組織、消防団、小学校教員、市消防本部が参加しました。傘を使って患部を固定したり、物干し竿と毛布で簡易担架を作ったりと、身の回りにあるものでできる応急処置に参加者は熱心に耳を傾けていました。

## 県立みなら特別支援学校で生徒会投票 18歳選挙を控えて、実際の器具を用いる

県立みなら特別支援学校で、実際の選挙で使われる投票箱と投票用紙記載台を使って、生徒会を決める投票が行われました。

同学校が主権者教育の一環で行っているもので、生徒たちは体育館で立候補者の立会演説を聞いたあと、会長など役員ごとに分けられた投票用紙へ立候補者の名前を書き、投票箱へ自分の一票を投じていきました。

同学校教諭は「高等部3年生はまもなく選挙権をもつようになりつづきます。実際と同じ器具を使うことで、選挙の雰囲気慣れてほしい」と思い、新しく取り組みをはじめました。他の人の用紙は見えない、周りと相談しないなど、生徒たちへ事前学習も行ったことで、より緊張感をもって臨めたと思います」と話しました。



## 親子で健康!体力づくり 第15回市民健康マラソンで爽やかな汗

12月16日、重信川緑地公園周辺の河川敷で東温市民健康マラソンが行われました。参加者は重信川河川敷を眺めながら、それぞれのペースでマラソンを楽しみ、爽やかな汗を流していました。

入賞した皆さん、おめでとうございます。また来年もご参加ください。



◀入賞した皆さん。愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツの選手と一緒に

## 三世代交流で心も体もあつたまる クロッケー、グラウンドゴルフ大会を開催

11月23日、世代間の交流を図ろうと、第13回三世代交流スポーツ大会が行われました。晴天の下で行われた大会に、お孫さん連れで参加した、シルバー世代の皆さんが熟練の技を



披露すると、親世代の皆さんはチームを引っ張ります。子どもたちはのびのびとプレーして、それぞれの世代が元気を蓄えた大会となりました。入賞チームの皆さん、おめでとございます。



## 西日本豪雨被災地へ復興を願い 陽光桜をお届け 東温高校商業科

12月11日、東温高校商業科3年生19人の皆さんが(株)遠赤青汁さんのご協力により、陽光桜の梱包作業を行いました。

陽光桜は、東温市出身の故高岡正明さんが戦死した教え子を思い、鎮魂と世界平和を託して開発した品種です。

東温高校では、10年ほど前から校内のクヌギの葉のエキスを配合した石けんを製作しており、その売上で



桜の苗木を購入。1.2mほどの陽光桜の苗木を傷めないよう丁寧に梱包した後

「普通の生活が1日でも早く戻りますように」「陽光桜とともに笑顔が咲きますように」と復興へのメッセージを添えて、被災地など計11カ所へ届けられます。参加した生徒は「3年間の集大成です。感謝の気持ちが届けばいいなと思います」と話してくれました。

## 東谷小学校でしめ縄づくり 正月を控え地域住民と児童が交流深める

1年間の米作りを通して、地域の伝統文化や行事を伝える取り組みが東谷小学校で続いています。

子どもたちは昨年、田植え、稲刈り、餅つきなど地域の人と共に経験し、地域に古くから伝わる文化を学びました。12月17日には年末行事として、しめ縄づくりを体験。自分たちで収穫した稲のワラを使って、しめ縄を作製していきました。



## 災害発生時の対応を学ぶ 市防災センターで「いざ」ときの備え

市防災センター(消防署横)で、わんぱく広場が開催され、参加した子どもたちが災害発生時の避難方法を学びました。

ビデオや講師の説明など座学に加え、防災センター

にある地震体験装置を使って、地震が収まるまで床に身を伏せるなどの行動を学んでいました。子どもたちはその後、ロープの結び方など水防訓練にも役立つ知識を習得していました。

